



# 笹小だより

No. 7

平成30年10月31日  
横浜市立笹野台小学校

## 読書の秋

副校長 岩間 洋

校庭の木々も色づき、晩秋の空に紅葉が美しく映える季節になりました。この季節は気候的に過ごしやすい時期であり、日暮れが早まり夜が長く感じられることから、その時間は読書をするのにふさわしいとされています。

中国・唐の時代の文人である韓愈(かんゆ)が残した詩の中に「燈火(とうか)親しむべし」という一節があります。

その意味は「秋になると涼しさが気持ちよく感じられる。そんな秋の夜長にはあかりをつけて本を読むのに適した季節である」ということで、韓愈が息子に対して勉強を勧めた言葉として知られています。この言葉が「読書の秋」という言葉の由来とされています。

何年も前から子供の活字離れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されています。

読書活動はこれらの能力を高めていくだけでなく、豊かな心と確かな学力を育むための大切な取組として、ますます重要性を増しています。

読書活動は子供が言葉を学び、知識を蓄え、感性を磨き、考える力を養うだけでなく、視野を広げ、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

子供が自主的に読書活動を行うことができるよう、本校では毎週火曜日を「読書タイム」として全校で読書に取り組んでいます。また、PTAの図書館ボランティア「笹っ子の会」による本や絵本の読み聞かせの活動を火曜日に行っていただいています。

本の読み聞かせは本との出会いの機会を広げ、子供を本好きにしてくれます。子供たちは読み聞かせの日をとっても楽しみにしています。

11月5日(月)～11月30日(金)は読書月間となっています。児童の図書委員会による図書集会や、「笹っ子の会」の皆様による読書集会など読書に関するイベントも計画されています。

今の時代はテレビやコンピューターゲーム、スマートフォンなど読書以外に子供たちを魅了するものがたくさんあります。

今の社会はこれらをすべて否定することはできません。ですから、なおさらこれらの使用方法をご家庭できちんと確認しながら、「ゲームもいいけど読書も楽しいよ。」と両者を上手に共存できる方法を探ってみてはいかがでしょうか。

子供にとって読書は想像力や考える習慣を身に付けるよい機会です。ぜひ、ご家庭でも継続して読書を楽しんでください。日頃から本を身近に置き、時間を見つけて読書する習慣を身に付けてほしいと願っております。